

愛とは

アシェル・イントレータ

2013年12月20日

戒めのうち最も大切なものは愛です。神さまが私たちに愛することを命じられているのであれば、私たちにはそれを行なう能力が与えられており、でなければ不可能です。それは私たちの意志、それも他人への「善意」と呼ばれる最も単純なレベルのものに関連があるのです。**ルカ 2:14**---...御心にかなう人々...(欽定英語版では「**Good will toward men**=人には善意を」)

人を愛することは、神がその人に用意された計画を成就し、永遠の報酬と祝福を受取るよう、その人にとっての最高を望むことです。神さまの人に対する「善意」は「**神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに...**」という御言葉と似ています。もちろん、これは他の人が救われ、罰を受けることがないよう、私たちが福音を分かち合うことの動機となっているものです(**ヨハネ 3:16**)。

またその他のレベルにおいては、愛は人の魂を他の人の魂と繋げる欲求でもあります。ヘブライ語の「フェローシップ (交流)」や「友達」という語は「互いにつながり合わされる」ことを意味しています。

第1サムエル 18:1--ヨナタンの心はダビデの心に結びついた。ヨナタンは、自分と同じほどにダビデを愛した。

「心 (英文は soul)」という語に注目してください。他人に対し善意を持つということが、霊的な愛であり、誰かと繋がっていたいという欲求が魂の愛です。私たちは霊と魂で愛するよう召されています(**申命記 6:5**)。

初期の弟子たちは、心 (魂) を一つにして祈りました(**使徒 1:14**)。彼らが食事や、フェローシップ、迫害、分かち合いの時をともにしたとき、彼らの魂も一つとなったのです(**使徒 4:32**)。私たちは霊においては全ての人に対し善意を示すことができますが、魂において繋がることのできるのは、人数が限られているのです。

人生は困難

使徒パウロは人生の終わりが近付いたときに「**終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。そのときに人々は、自分を愛する者...になり、**」-- **第2テモテ3:1-2**と警告しています。人生は元来困難なもので、困難な状態が続くものです。私たちが理解す

べきことは、私たちはお互いが費用であるということです。人生は一人でやりきるには難し過ぎるので、私たちは家族として、また信仰に基づく集まりとして、お互いに一つとなる必要があるのです。

先週のエルサレムでの大雪による停電や道路が寸断されたことで、このことを少し見ることができました。私たちは愛により、実践的な奉仕をもって、お互いに助け合えるようにしておく必要があります。私たちが助けを必要とするとき、誰がそばにいてくれるのでしょうか。コミュニティは実践的な奉仕活動により建て上げられていくものです。

「ただ、あなたがたの逃げるのが、冬や安息日にならぬよう祈りなさい」

(マタイ 24:20)

アリエル・ブルメンソール

何人かの方はホワイトクリスマスを望んでいるでしょうが、ここエルサレムでは、終わりの時にエルサレムで起こることについて、イエシュア（イエスさま）の示された、非常に実践的な教訓を体験することができました。何十年に一度の大雪は、この街を完全に麻痺させ、5日経った今でも、多くの人が雪の中や折れた樹の枝から物を掘り出しており、電力不足に悩まされています。イエシュアは、来たる大患難時代の幾つかの出来事が、a)冬に起こらないよう（寒さと雪で生活が困難に）、また b) 安息日でないよう（イエシュアの時代も現在も、エルサレム市内は「公共の」交通機関は禁止）祈るよう教えています。このことは私たちの祈りが、終わりの時の一連の出来事が起こるタイミングや強さ、期間に影響を与えることができるということです（22 節もご覧ください）。私たちの多くはとても実際的な方法で、他人を家に招いたり、貧しい人やお年寄りに仕え、近隣の方にイエシュアの光を輝かせることができます。どうぞこれら御国の成果が実りますように、また未だ傷つき、心が冷えきって、孤独な方達のため、お祈りください。

メシアニックジュー反対の警告ポスター

コーディ・アーチャー

最近、エルサレム中心街の多くの地区で何枚もの、あるポスターが貼られています。これらのポスターは、あからさまにメシアニックジューを、そして福音の発展に対し、攻撃しています。以下がそのヘブライ語ポスターの翻訳です。

「ミッショナリーセンターに、注意！危険！（そして建物の住所を明記）。これら（エルサレムにある5カ所の超正統派コミュニティを列記）からの抵抗があっても、宣教師たちはその宣教活動のため、巨大な建物の建造を計画している。彼らの目指すところは明白、志の弱い若者や子供たち貧しい者達を漁ろうとしている。このことは私たちの地域の将来的特質にとって危機的状況だ。我々は我らの若者や子供たちを、宣教師たちの網に掛からないようにする。我々は彼らが我らの地域での活動をやめるまで、手放しで、黙ってはいない。住民たちの闘いだ、覚悟しろ。危険！ジュース・フォー・ジーザス」

私たちのCongregationやチームメンバーの何人かが、この地域に住んでいます。どうぞ、全てのエルサレムの信者が、近隣の住民と関係を築く上で、愛に満たされ、聖霊様の導きを得ることができるようお祈りください。

祈りのお願い

今週、私たちの友人で、何年もの間リバイブイスラエルのため技術的な賜物で真摯に奉仕してくれているKen Splaneが、深刻な心臓の病気で入院し、回復中です。どうか早い回復のため、お祈りください。